

長野県伝統的工芸品産業振興に係る主な取組状況について

産業技術課

1 販路開拓について

(1) 伝統的工芸品月間全国大会

令和4年度	場 所	秋田県立美術館等（秋田市）[3日間]
	出展産地	飯山仏壇
	来場者数	約 138,000 人
令和5年度	場 所	岡山県コンベックス岡山（岡山市）
	期 間	11月2日（木）～5日（日）[4日間]

(2) 関東ブロック伝統的工芸品展

令和4年度	場 所	東京国際フォーラム（東京都）[2日間]
	出展産地	木曾漆器、南木曾ろくろ細工
	来場者数	約 3,500 人
令和5年度	場 所	横浜高島屋（神奈川県）
	期 間	12月26日（火）～31日（日）[6日間]

(3) 長野県伝統的工芸品展

主催：長野県、長野県伝統工芸産業振興協議会、長野県中小企業団体中央会

令和4年度	場 所	井上百貨店（松本市）[7日間]
	出展産地	23産地
	来場者数	約 1,900 人
令和5年度	場 所	井上百貨店（松本市）[7日間]
	期 間	令和6年1月17日（水）～23日（火）[7日間]

(4) 商談会等による販路開拓・販売促進（県営業局）

①大手セレクトショップ「ビームス ジャパン 善光寺店」での伝統的工芸品販売

実施時期等	令和5年9月1日～12月3日（会場：善光寺授与品所内）
参加事業者数	2者（内山紙、信州紬（上田紬）） ※バイヤーの産地訪問等を経て商品化

②フランス・パリ「伝統と先端と 日本の地方の底力」への出展支援

（主催：一般財団法人自治体国際化協会 パリ事務所）

実施時期等	令和5年11月14日～25日（会場：パリ日本文化会館）
参加事業者数	3事業者 ※軽井沢彫、信州組子細工、飯山仏壇 （前年度：2事業者）

2 人材について

(1) 新規就業者定着支援（助成金）

新規就業者を対象として育成費用を助成

助成人数：3人

実施産地：3産地

木曾漆器、長野県手作り打上花火、信州紬

助成金額：新規就業者4万円/月 事業者4万円/月

助成期間：6か月

(2) 後継者発掘支援

後継者発掘のための産地インターンシップを開催

○軽井沢彫：インターンシップ生のワークショップ
(1泊2日現地開催+オンライン)

○飯山仏壇：インターンシップ生と産地事業者の協働による商品開発

(3) 技術伝承講習会

後継者の確保・育成を図るため、熟練技術者を講師として講習会を開催

○開催地：5産地程度（場所未定）

(4) 後継者育成・販路開拓支援員による産地伴走支援

長野県中小企業団体中央会に支援員を配置し、産地の課題・ニーズに応じたきめ細かい相談・助言や取組を支援。

・支援員数 4名

・産地訪問支援数 494回（令和4年度実績）

3 新たな切り口の取組について

(1) 伝統的工芸品産業と他業種との連携を促進

県内企業等が伝統的工芸品を活用し工芸品の魅力の発信に取り組む事業や工芸品産地と県内企業等が連携して新たな商品やビジネスを創出する事業等を支援

◇補助事業概要

	I型 伝統的工芸品活用事業	II型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業
取組内容	伝統的工芸品を活用し、その魅力の発信や認知度向上に資する取組	伝統的工芸品事業者と異なる業種の企業等が連携して行う新規性・拡張性の高い取組
補助対象者	県内に本社又は事業所を置く企業（伝統的工芸品事業者を除く）や組合 ※II型では伝統的工芸品の製造事業者と県内企業等が連携したグループであること	
補助率 補助額	2分の1以内 上限10万円	2分の1以内 上限100万円

【I型 伝統的工芸品活用事業】 採択件数7件

事業者名（所在地）	主な取組
合資会社富士之湯 (松本市)	木曾漆器を活用してお客様に料理を提供 (活用先：浅間温泉 富士乃湯)

齊藤 敬一 (松本市)	木曾漆器の楮行燈とグラスを食事処で利用 漆グラスを用いてお客様に地ビールを提供 (活用先：溪流荘しおり絵)
株式会社 奈良井まちやど (塩尻市)	木曾漆器の技術を活用した皮漆製の名刺入れを全社員で活用 (活用先：BYAKU Narai)
合名会社金宇旅館 (松本市)	木曾漆器の食器を活用し料理を提供 ギャラリースペースにも木曾漆器を展示 (活用先：金宇旅館)
西沢 寛佳 (松本市)	木曾漆器のグラスや器を使って料理を提供 (活用先：とり麺や 五色)
小口 惣三郎 (下諏訪町)	木曾漆器の茶器や箸置き、湯飲み等を活用 (活用先：みなとや旅館)

※上記の他、1事業について、補助事業者の希望により現段階では非公表

【Ⅱ型 新商品開発・新ビジネス創出支援事業】 採択件数3件

事業者名 (所在地)	主な取組
株式会社人形工房サンキュー (佐久市)	日本人形、節句人形と調和する信州組子細工を用いた 装飾製品の開発

※上記の他、2事業について、補助事業者の希望により現段階では非公表

(2) デザサポながのによる商品開発支援

(工業技術総合センター環境・情報技術技術部門内 地域資源製品開発支援センター事業)

地域資源を活用したデザイン性の高い商品開発を支援

(3) 伝統的工芸品リブランディング事業

産地の認知度向上と伝統的工芸品の新たな価値の創造を図るため、消費者意識・潜在的魅力度・産地の可能性を調査。

○令和5年度長野県伝統的工芸品リブランディング事業

[ながのアド・ビューロへ委託]

《事業概要》

・県内初のアイドルグループ「ナナフル」(※) が県内出身者&若者の視点で、伝統的工芸品の「推し隊」として、伝統的工芸品産地の職人などから魅力を楽しく学びながら、県内メディアと連携し発信していく。

この取組により、若年層が伝統的工芸品のファンになっていくプロセスを印象付け、「推し隊」とその取組を応援したいというファンを増やししながら、伝統的工芸品のファンづくりへ誘導していく。



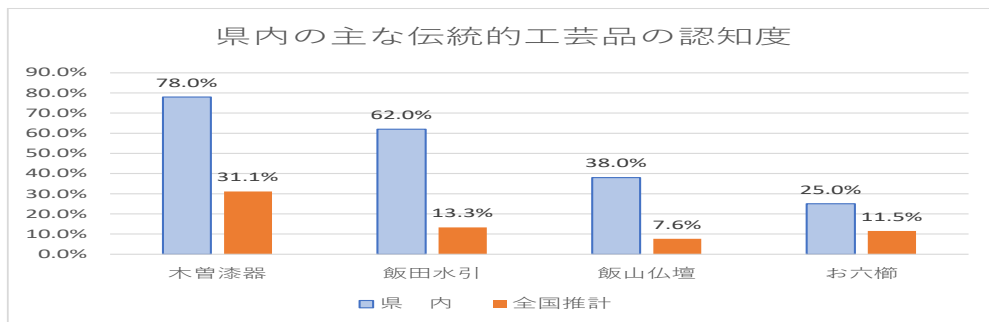
Fleur of 7th Period
7限目のフルール

※佐久長聖高校が今年度新設したパフォーミングアーツコースに入学し結成した、今注目を浴びている県内初のアイドルグループ
[7限目のフルール] (通称ナナフル)

【参考：リブランディング潜在力全国定量調査（R4 年度実施）】

○認知度

- ・現状の認知度は低い
- ・県内でも、木曾漆器、飯田水引以外の工芸品を知らない人が多い



○潜在力

伝統的工芸品の簡単な説明をするだけで、充分興味を持ってもらうだけの魅力がある。

(4) クラフト産業との連携

手作りの日用品としての親和性の高いクラフト産業との交流を広げ、後継者の発掘や新しいモノづくりの発想を取り入れるなど、クラフト産業との連携を図る。

○信州ハンドクラフトフェスタ 2023 へ「長野県伝統的工芸品特別展」として初出展

開催日	令和5年7月8日（土）、9日（日）		
場所	エムウェーブ（長野市）		
入場者数	約 13,000 人 （主催者発表）	出展小間数	約 500 小間

販売、実演体験：8 産地 [木曾漆器、信州紬、飯山仏壇、飯田水引 等]
展示：10 産地 [松本家具、内山紙、お六櫛、軽井沢彫 等]

(5) 伝統的工芸品を未来へつなぐフォーラム

「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」が、令和5年4月1日に施行され、これを機に、伝統的工芸品産業の振興について気運を醸成するために、伝統的工芸品月間に合わせてフォーラムを開催。

【フォーラム概要】

日時 令和5年11月9日（木）
場所 長野市（ホテルメトロポリタン長野）
内容

◇基調講演

講師：(株)和える 代表取締役 矢島里佳様

◇事例発表

①伝統的工芸品の取組、②伝統的工芸品の体験型観光への展開、③伝統的工芸品のデザイン的アプローチ、④伝統的工芸品のリブランディング調査結果について